

豆類の頑敵

生態調査

根瘤菌を喰ふ
フタスデハムシ

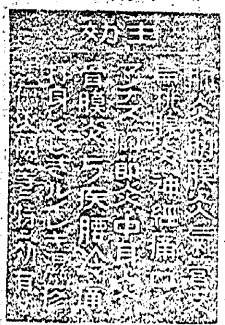
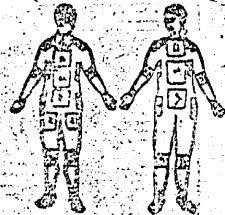
秋田縣大曲町郊外国立農場
奥羽試験地湖山利爲農士は
豆類に大害を興へる「フタス
デハムシ」の生態及び習性に
つき今春來研究に着手して
るがフタスデハムシは毎年四
五月豆類の發芽の際出て
小孔を穿つて食ひ盡しその
生育を害する事が少なくない
その後の經過及び習性は未だ
不明で形態は

成虫は小形の葉虫で体長一
分一、二厘、全体淡黄褐色
頭部の腹眼は黒色、觸角長
形 胸部には左右各一対の
翅の少しく出る黒線を付けて
ゐる。後端に逆さすして止
まり、
卵、幼虫、成虫については未
だ研究されてゐないもので従
つて越冬の際何を食つて棲息
してゐるか不明で多分大豆の
根瘤菌を喰つてゐるのでない
いかとの観測の下に飼育研究
の結果幼虫は豆の根瘤菌を喰
つて大豆の根瘤菌を喰つて棲息して
ゐる事實を發見した。成虫は
五月中旬から七月中旬ごろま
で一匹につき百粒以上卵を
すてて羽化して盛んに葉を喰
ひ荒してゐるが成虫が多量に
土中にくゞり産卵するが卵の
まゝ越冬するか今後の研究の
結果を注同されてゐるが判明
次第取りまゝとて學界へ發表
することになつてゐるがフタ
スデハムシの被害は既に同地
方に於て甚だしいもので成虫
の越冬をつきとめれば勿論
驅除防禦の方法も完成される
ことであらう(終り)

皇軍戰勝二冬品會の第一線に立つ

子供帽子 中折帽子

ツルヤ
電話一四〇〇
豊富陳列
漸新型



山野邊藥局
五丁目角
平市

山野邊藥局
平市
電話五九一
電話五九二
電話五九三
電話五九四
電話五九五
電話五九六
電話五九七
電話五九八
電話五九九

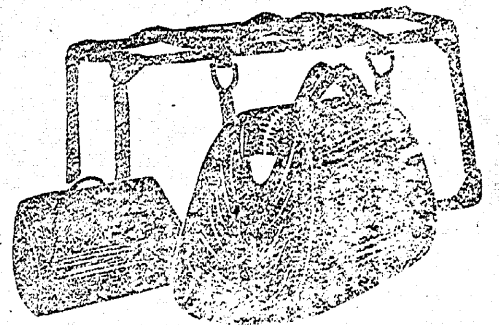
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九二番

專門 皮膚科 泌尿科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

院醫尻江

類品洋 と ンバカ



(話電六)屋砂真 (前驛、市平) (り通道新)

靴の修理は 草の素で

皮革材料品液の折損靴は履き替へるに草の素にて御修理下さい、御使用法は至るまで簡單で誰にでも容易で在來の草より數倍勝る耐久力があつます、其の他、スリッパ、草履、ゴム製品、下駄等萬能修液劑として重寶、是非一度御試し下さる様

製造元 東京 昭理化學研究所
平市大町二二三 山野邊セメント工業所
特約店

債券 公債 兩替 金融
金田井質店
平市大町 電話五九一

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正一
平市二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

安田系統の帝國海上

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一

院長 醫學博士 鈴木定藏

內科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾安司
外科 部長 高橋俊幸
皮膚泌尿科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限にあらす)

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三 平市 田町
居命は 三三三

藤沼醫院
平市船屋町 電話五〇七

一級印刷物
新いわき新聞社 印刷

根本 産婦人科醫院

平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄
電話三四番

(入院隨時)